

結果の概要

医療の向上は、県民生活の大きな課題とされており、医療施設数、医療関係者数とも年々増加してきているが、全国水準に比べて未だ低い状況である。

施設の種類の別みた施設数（図1）

病院は204施設で、前年より1施設増加した。人口10万対6.8で、全国の7.1より0.3低く都道府県中第29位である。

療養病床を有する病院は91施設で前年より5施設増加。老人人口10万対16.5で全国の17.2より低く、都道府県中第26位である。

一般診療所は1,634施設で、前年より17施設増加した。うち有床診療所は、261施設で16.0%を占めている。人口10万対施設数は54.7、全国の76.0より低く都道府県中第46位である。

歯科診療所は1,349施設で、前年より7施設増加した。人口10万対45.1、全国の52.1より低く都道府県中第26位である。

図1 施設の種類の別みた施設数の年次推移

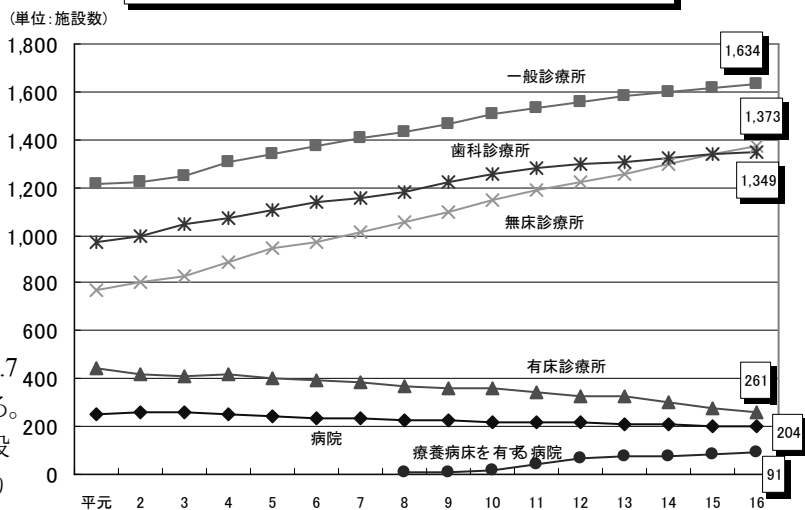


図2 病床の種類の別みた病床数の年次推移

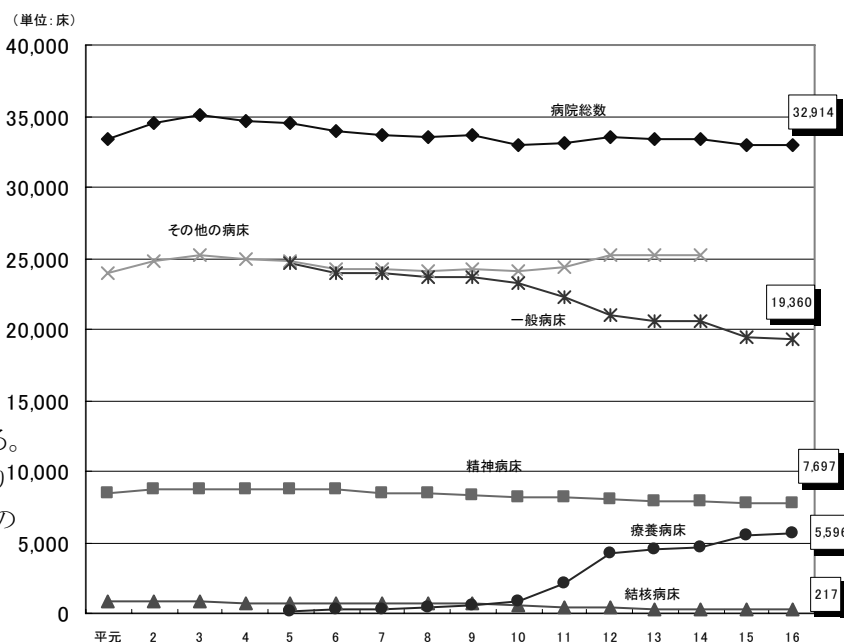
病床の種類の別みた病床数（図2）

病院の病床数は32,914床で、前年より29床減少した。人口10万対1,101.2で、前年を0.2ポイント下回った。全国の1,277.8より低く、全都道府県中第39位である。

一般病床は19,360床で、前年に比べ40床減少した。

療養病床は5,596床で前年より146床増加した。老人人口10万対1,011.9で全国の1,404.8より低く、都道府県中第34位である。

一般診療所の病床は3,208床で、前年より177床減少した。人口10万対107.3で全国の141.8より低く、都道府県中第34位である。



開設者別にみた施設数

病院は、「医療法人」が144施設（病院数の70.6%）で最も多く、次いで「個人」が11施設（同5.4%）である。

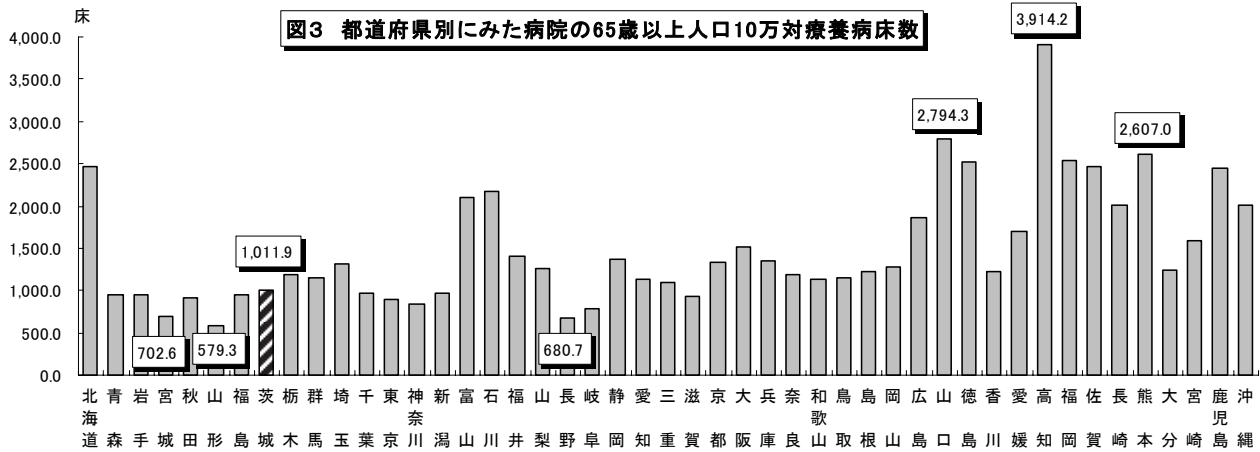
一般診療所は、「個人」が859施設（一般診療所数の52.6%）で最も多く、次いで「医療法人」469施設（同28.7%）である。

歯科診療所は、「個人」が1,222施設（歯科診療所数の90.6%）で最も多く、次いで「医療法人」116施設（8.6%）である。病院及び一般診療所において「医療法人」の割合が年々増加している。

都道府県別にみた病院の65歳以上人口10万対療養病床数（図3）

病院の65歳以上人口10万対療養病床数は1,011.9で前年より4.5ポイント上回った。

全国平均は1,404.5。都道府県別では、高知県、山口県、熊本県などが高く、山形県、長野県、宮城県などが低い。本県は高い方から34位である。



病院の患者数

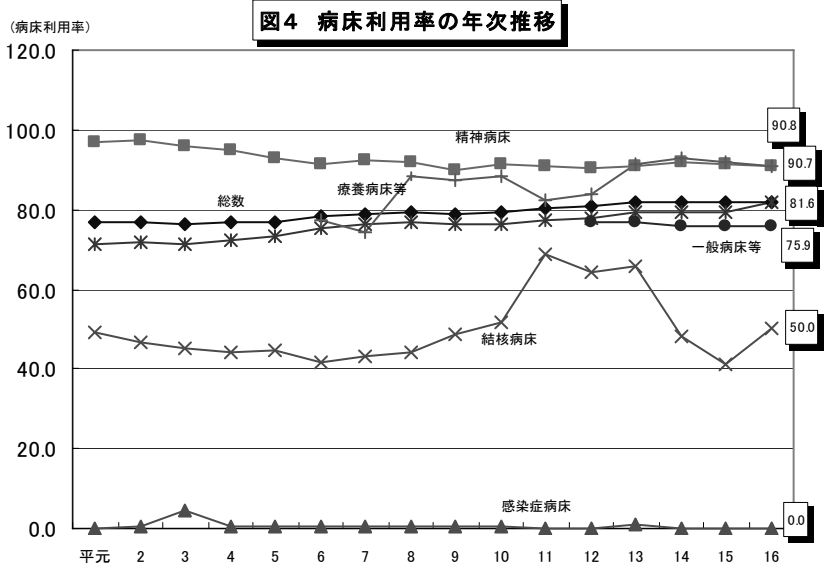
一日平均在院患者数は26,861人で前年に比べ、164人減少した。また、一日平均外来患者数は35,726人で前年より1,284人減少した。

病院の病床利用率（図4）

病床利用率は81.6%で、前年と同じである。

病床の種類別にみると精神病床90.7%、一般病床等75.9%、療養病床等90.8%などである。

なお、一般病床等の病床利用率は全国平均の79.4%より低く、都道府県中第47位である。



病院の平均在院日数（図5）

平均在院日数は35.1日で、前年に比べ0.1日長くなっている。

病床の種類別にみると、精神病床460.1日、結核病床80.9日、一般病床等20.2日、療養病床等170.1日などである。

一般病床等は、全国の20.2日と同じで、長い方から都道府県中第33位である。

